

告知
9月号より月刊化
ご期待下さい

待機児問題を市民にも協力を仰ぐ
方式で国・自治体は再考せよ
編集委員 佐野 浩

参議院選挙(7月10日)の主要政党の主要候補も並びに都知事選挙(7月31日)の主要候補も「待機児童解消」を訴えるが、即効性の薄いものであった。その中で唯一おおさか維新の会の田中康夫候補だけはすぐに実現可能な政策を打ち出していた。その政策とは「子育て経験者が研修を受け、自宅で乳幼児をお預かりする」という政策である。

首相官邸による7月12日付の「待機児対策」によれば、平27年度の保育園利用数は約233万人、待機児数は23,167人(実際はこの5倍はいるらしい)という。

待機児(23,167人)の解消には240あまりの施設の建設とそのための用地(約48,000坪)が必要なうえ、7万人の保育士不足(前記首相官邸資料による)を解消しなければならない。

田中氏の方法なら親を含む子育て経験者が一定の研修を受けた上で保育を行うので保育士不足の問題は解決できる。又、保育経験者の家で行うので施設や土地の問題も解決できる。

実は私は本紙の2010年12月号で小金井市の待機児解消のために2人の子を持つ親(保育経験者)の協力を仰ぐ案を提案している。

フランスではこの保育経験者による親の保育参加が進み、田中氏も訴えているように全体の7割がこの方式で子どもを預かっているという。フランスにも待機児問題はあるというが、日本ほど深刻ではないという。長年かかっても解決しにくい問題を行政のみの責任とせず、市民の協力を得ながら解決するところにフランス方式の利点と民主主義の原点がある。国にも自治体にも市民にも、待機児問題解決に向けて再考を促したい。

参院選全国では与党圧勝「2/3」達成

= 東京-小金井-では野党系が善戦 =

7月16日の参院選で、自民・公明など野党系が圧勝し、改憲発議に要する2/3に参院でも到達した事はご存じのとおり。ただその内実は「与党の政策が支持された」というより「野党に魅力がなかった」のが最大の原因と見るべきだろう。

「白紙委任」ではない事を肝に命じての政権運営をくれぐれも望みたい。

さて、東京選挙区では民進が2人、共産が1人当選し、自公の3人と拮抗する結果となった。さらに小金井市に限定して言えば、野党系(民進・共)の得票は与党(自・公)を4千票余り上回った。横条氏の票を加算すれば、その差は9千票以上にもなる(右図参照)。また、全都では「民自公自民」の得票順位も、「民自民共自公」と野党系が上位を占めた。そして前回の参院選で大敗した民主党は、今回民進党として1万票近くを回復した。

つまり、どの角度から見ても、今回の選挙で小金井の野党系は善戦したといえるのである。

なお、今回から選挙権を得た18歳の投票率は全国平均で5割を超え(東京都

都知事選に小池氏当選初の女性都知事

31日の都知事選で小池ゆりこ氏が当選を果たした。前知事の急な退職による都知事選は近年稀にみる激戦りになったが、非公認を逆手にとり勝利した。

東京都知事選 結果(投票率 59.73%)

候補者	得票数	得票率
小池 ゆりこ	2,912,628	44.5%
増田 寛也	1,793,453	27.4%
鳥越 俊太郎	1,346,103	20.6%

小 金井市職員採用試験の申込者がV字回復している。小紙既報の通り昨年度の受験者は例年の三分の一以下に激減したが、今年度は試験年二回実施、公務員試験対策不要、と大胆な改革を断行した成果が現れたようだ。一回目の試験の申込者は342名。自治体間の競争を勝ち抜くため優秀な人材の確保を期待したい。

2016年 参議院議員選挙 東京選挙区 候補者別得票数

順位	候補者	小金井市	東京都
1	蓮舫(民進党)	10,151	1,123,145
2	中川雅治(自民党)	7,915	884,823
3	小川敏夫(民進党)	6,306	508,131
4	山添 拓(共産党)	6,072	665,835
5	朝日健太郎(自民党)	5,695	644,799
落	落:横条勝仁(無所属)	4,974	310,133
落	竹谷とし子(公明党)	4,656	770,535
落	落:田中康夫(無所属)	3,791	469,314

参議院議員選挙 東京選挙区 党派別得票数(小金井市)

	2013年	2016年
自民党	15,029	13,610
民主党(民進党)	6,897	16,457
共産党	6,437	6,072
公明党	4,673	4,656
社民党		1,082
無所属	山本太郎(当選) 6,338	横条勝仁(落選) 4,974

は60%超)、19歳以上の若年層の低さ(30%台)に対して突出している(いず

れも総務省調べ)。また、その大半が与党に投じられた(全国紙出口調査)という。主権者教育に課題を残した。

行財政を考える小金井市民の会会員による「稲葉市政の通信簿」を連載します。今号は会員であり、元市職員でもある加藤良重氏の寄稿です。読者と一緒に考えていければ幸いです。



加藤 良重氏

稲葉市政の通信簿

職員人材の育成に遅れ自治体の行政水準は、職員人材の多寡によって決まるといってよい。職員人材の確保・育成・活用は、職員の任免権と指揮監督権をもつ首長の思いと決断が決定的に重要である。職員人材とは、倫理観・使命感をもち、政策を立案・実施する能力のある職員をさす。個々にみると、小金井市役所にも研究熱心で有能な職員がいる。だが、市役所全体を見渡してみると、どれだけの職員が人材として確保・育成・活用されているといえるのだろうか。

小金井市は、平成7・8年度には財政運営の弾力性を示す「経常収支比率」が100%を超えて、全国の市のなかで最悪の財政硬直状況に陥った。その最大要因は職員人件費にあり、職員数が全国の類似団体との比較で約200人も多かった。当時の大久保慎七市長(故人)のもと全庁的に後に引けないという不退職の決意で行財政改革に取り組んだ成果として、大幅

な職員数の削減が行われ、財政見直しにも明るい展望が持てるようになった。しかし、職員削減のための欠員不補充が何年間も続いたため、職員の年齢構成がイビツなものになり、わたくし自身は、このままでは「財政危機」の次に「人材危機」が到来するとの予感を抱き、強く危惧していた。そこで、多様な職員研修の実施、外部との人事交流、中途採用、抜擢人事などの必要性を提起してきた(拙著『自治体も「倒産」する』・平成10年)。

人材育成は、機械的に研修所への派遣だけではできない。市独自の知恵をしぼった人材育成計画をつくり、実施することが不可欠である。この計画は職員の机上プランでなく、市民の視点と専門家の知見も取り入れた実効性のあるものでなければならない。また、副市長、教育長などの特別職や管理職にあてることのできる人材育成が求められてきた。

稲葉市政下で果たしてどれだけの職員人材の取り組みがなされてきたといえるのか心もとない限りである。

保育士、保育補助員募集

就職支度金 70,000円 (保育補助員除く) 支給

- A 調理・栄養士(初任) 月額209,505円 ~ 234,460円
- B 保育士(初任) 月額209,505円 ~ 234,460円
- C 保育補助員(早遅番あり) 時給1,100円 ~ 1,150円

その他の手当：住宅手当 月額 18,000円 (近隣に引っ越した場合)
皆勤手当 月額 4,000円
扶養児童手当 月額 13,000円 あるいは 3,000円

くわしくは下記までお問い合わせください

駅前コスモ認可保育園 TEL 042-383-7755
小金井市東町4-4-2-1-206

第二コスモ認可保育園 TEL 042-316-6464
小金井市梶野町5-8-20-B

荻窪コスモ認証保育園 TEL 03-3220-3535
杉並区荻窪5-6-5-1F

第四コスモ認可保育園 TEL 042-381-6464
小金井市梶野町5-8-25-101

武蔵境コスモ認可保育園 TEL 0422-55-8686
武蔵野市境1-20-5



2016年4月開園
武蔵境コスモ認可保育園

小・中・高生 東進塾 小・中・高生
少人数指導 完全個人指導

まだ間に合います!

夏期講習生募集

後期：8月5日(金) ~ 12日(金) (7日間)

講習料金 例
少人数クラス 中学生 2科目 7日間 18,900円

小学生、高校生も受付中! 詳しくはお問合せ下さい

(コスモ教育センター)

小金井市東町4-46-12 コグレビル201

TEL(代) 042-383-6464

FAX 042-383-6465



学童保育児募集